

みのり高等学校 通信教育実施計画書

| | | | | |
|-------|----------------------------------|-----|-------------|----------------|
| 教科・科目 | 必履修 | 単位数 | 教科書 | 副教材 |
| 世界史探求 | | 4 | 東京書籍「世界史探求」 | DVD-ROM「世界史探求」 |
| 評価方法 | 添削指導(計12回)、試験(年2回)、面接指導(年4回)での評価 | | | |

指導目標

- 1 世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目して、多面的・多角的に考察できる力を育てる。
- 2 世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連づけながら理解するとともに、諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけられるようにする。

〔評価の観点〕

- 【主体性】・世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、見通しを持って学習に取り組もうとしている。
- 【知識・技能】・諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけている。
- 【思考・判断・表現力】・世界の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、次期や年、推移、比較、相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりすることができる。

| 添削課題 | 単元名 | 指導項目・概要 | スクーリング実施計画(実施内容) |
|----------------------|---|--|---|
| 第1回 提出期限 5月15日 | 第1編 諸地域の歴史的特質 第1章 古代文明の出現 第2章 西アジアと地中海周辺 | ②古代オリエント文明とエーゲ海地域 ③南アジアの古代文明 ①オリエントの統一 ②古代ギリシャとヘレニズム世界 | ・エジプト、メソポタミア、エーゲ文明について ・インダス文明について ・アケメネス朝の統治策について ・アテネの民主政とその変遷について |
| 第2回 提出期限 6月16日 | 第3章 南アジア 第5章 東アジアと中央ユーラシア | ③ローマ帝国と地中海世界 ⑥イスラム世界の成立 ⑦中世初期の東西ヨーロッパ ①南アジアにおける国家形成 ②インド世界の形成 ①古代帝国の誕生 ②中国の分裂と多様化 | ・ローマ帝国の成立、発展について ・イスラム世界の成立とイスラム教の特色について ・インド統一王朝の変遷と特色について ・秦漢帝国の発展経過について ・魏晋南北朝時代の社会と文化について |
| 第3回 提出期限 6月16日 | 第2編 諸地域の交流と再編 第7章 イスラーム世界の拡大と繁栄 第8章 中世ヨーロッパ 第9章 中華世界の変容とモンゴル帝国 | ①イスラム世界の発展 ②イスラム文明 ①中世ヨーロッパ社会の展開 ②中世ヨーロッパ社会の成熟 ③中世西ヨーロッパの文化 ④中世ヨーロッパ社会の再編 ①唐崩壊後の東アジア ③モンゴル帝国 ④元の成立 | ・イスラム世界の発展過程について ・中世ヨーロッパ社会とキリスト教の発展について ・封建社会の変質について ・唐の滅亡～元に至る中国の政治的変遷について ・宋～元代の文化について |
| 第4回 提出期限 7月15日 | 第11章 大交易時代と世界の一体化 第12章 ユーラシア所帝国の繁栄 | ②ポルトガルのアジア進出 ③明と日本・朝鮮の動向 ④一体化に向かう世界 ①中央アジアと西アジアの繁栄 ②インドの大国-ムガル帝国 ③清と東アジア | ・大航海時代について(ポルトガル・スペイン) ・明代の政治、文化について ・ティムール帝国、サファビー朝ペルシャについて ・ムガル帝国の政治的変遷について ・清朝の中国支配について |

| 添削課題 | 単元名 | 指導項目・概要 | スクーリング実施計画(実施内容) |
|---------------------------|--|---|---|
| 第5回 提出期限 7月15日 | 第13章 主権国家群の形成と地球規模での交易の拡大 | ①主権国家群の形成と宗教改革 ②オランダの繁栄と英仏の国家形成 ③商業覇権と植民地建設 ④啓蒙専制国家の発展 ⑤近世ヨーロッパの社会と文化 | ・近世主権国家の特色と宗教との関係について ・宗教改革について(ルター, カルヴァンの思想) ・オランダ独立戦争について ・絶対主義諸国の植民活動について(第二次英仏百年戦争) ・近世ヨーロッパ社会の文化について(自然科学, 哲学, 芸術などの分野) |
| 第6回 提出期限 8月15日 | 第3編 一体化していく世界 第14章 国民国家と近代社会の形成 | ②アメリカとラテンアメリカ諸国の独立 ③フランス革命とウィーン体制 ⑤19世紀後半のヨーロッパ諸国 ⑥南北アメリカの発展 | ・ラテンアメリカ諸国の独立と米英の対応について ・フランス革命の変遷について ・ウィーン体制の成立から崩壊までの経過について ・南北戦争と戦後の発展について ■前期単位認定試験【7月】(3年) ■前期単位認定試験【9月】(1,2年) |
| 第7回 提出期限 10月15日 | 第15章 世界市場の形成とアジア諸国の変容 第16章 アジア・アフリカ諸国の統治再編と世界分割の進行 | ③南アジア・東アジアの植民地化 ④清における開発の限界と2つのアヘン戦争 ①列強の覇権争い ②西アジア、中央アジアの変革 ③南アジア、東南アジアの民族運動 ④清の体制転換と近代国家建設の模索 | ・ムガル帝国の滅亡とインド帝国の成立について ・アヘン戦争と戦争後の中国の対応について ・アフリカ分割の経過について ・インド、東南アジアの民族運動について ・清朝の改革(洋務運動と変法運動)について |
| 第8回 提出期限 11月14日 | 第17章 第一次大戦の展開と諸地域の変容 第18章 国際協調体制の動揺と第二次世界大戦 | ①第一次世界大戦 ②ヴェルサイユ体制と国際秩序の再編 ③大戦後のアメリカとヨーロッパ ①世界恐慌と政治経済の変容 ②国際協調体制の動揺 ③第2次世界大戦の開戦と展開 | ・第一次世界大戦の原因と経過について ・ヴェルサイユ体制とワシントン体制について ・世界恐慌と各国の対応策について ・ファシズム国家の台頭とその動向について ・第二次世界大戦の経過と、戦中の国際会談について |
| 第9回 提出期限 11月14日 | 第19章 第二次大戦後の東アジア 第20章 冷戦の世界化と国際制度 第21章 冷戦の変容、終結と経済のグローバル化 | ④戦後秩序抗争と冷戦の形成 ②帝国の解体と分断国家の形成 ④朝鮮戦争と東アジアの冷戦 ①冷戦と政治経済秩序 ②アジアアフリカ諸国の独立と第3勢力 ②冷戦の変容と世界の諸地域のグローバル化 ③冷戦の終結とその後の世界 | ・第二次世界大戦と戦後秩序構想について ・朝鮮戦争について ・冷戦の展開について ・第3世界の台頭と多極化の進展について ・冷戦終結後の地域紛争について |

| 添削課題 | 単元名 | 指導項目・概要 | スクーリング実施計画(実施内容) |
|--|---|--|---|
| 第10回 提出期限 12月15日 | ◆振り返り学習(まとめ)① 第1編 諸地域の歴史的特質 第1章 古代文明の出現 第2章 西アジアと地中海 周辺 第3章 南アジア 第5章 東アジアと中央 ユーラシア 第2編 諸地域の交流と再編 第7章 イスラム世界の 拡大と繁栄 第8章 中世ヨーロッパ 第9章 中華世界の変容と モンゴル帝国 | ・古代オリエント文明とエーゲ海地域 ・南アジアの古代文明 ・オリエントの統一 ・古代ギリシャとヘレニズム世界 ・ローマ帝国と地中海世界 ・イスラム世界の成立 ・中世初期の東西ヨーロッパ ・南アジアにおける国家形成 ・古代帝国の誕生 ・中国の分裂と多様化 ・イスラム世界の発展、イスラム文明 ・中世ヨーロッパ社会の展開 ・中世ヨーロッパ社会の再編 ・唐崩壊後の東アジア ・モンゴル帝国、元の成立 | ・エジプト、メソポタミア、エーゲ文明について ・インダス文明について ・アケメネス朝の統治策について ・アテネの民主政とその変遷について ・ローマ帝国の成立、発展について ・イスラム世界の成立とイスラム教の特色について ・インド統一王朝の変遷と特色について ・秦漢帝国の発展経過について ・魏晋南北朝時代の社会と文化について ・イスラム世界の発展過程について ・中世ヨーロッパ社会とキリスト教の発展について ・封建社会の変質について ・唐の滅亡～元に至る中国の政治的変遷について ・宋～元代の文化について |
| 第11回 提出期限 12月15日 | ◆振り返り学習(まとめ)② 第11章 大交易時代と世界 の一体化 第12章 ユーラシア所帝国 の繁栄 第13章 主権国家群の形成と地球 規模での交易の拡大 第3編 一体化していく世界 第14章 国民国家と近代 社会の形成 | ・ポルトガルのアジア進出 ・明と日本、朝鮮の動向 ・中央アジアと西アジアの繁栄 ・インドの大国-ムガル帝国 ・清と東アジア ・主権国家群の形成と宗教改革 ・オランダの繁栄と英仏の国家形成 ・商業覇権と植民地建設 ・啓蒙専制国家の発展 ・近世ヨーロッパの社会と文化 ・アメリカとラテンアメリカ諸国の独立 ・フランス革命とウィーン体制 ・19世紀後半のヨーロッパ諸国 ・南北アメリカの発展 | ・大航海時代について(ポルトガル・スペイン) ・明代の政治、文化について ・ティムール帝国、サファビー朝ペルシャについて ・ムガル帝国の政治的変遷について ・清朝の中国支配について ・近世主権国家の特色と宗教との関係について ・宗教改革について(ルター、カルヴァンの思想) ・オランダ独立戦争について ・絶対主義諸国の植民活動について ・近世ヨーロッパ社会の文化について ・ラテンアメリカ諸国の独立と米英の対応について ・フランス革命の変遷について ・ウィーン体制の成立から崩壊までの経過について ・南北戦争と戦後の発展について |
| 第12回 提出期限 1月15日 | ◆振り返り学習(まとめ)③ 第15章 世界市場の形成 とアジア諸国の変容 第16章 アジア・アフリカ 諸国の統治再編と世界 分割の進行 第17章 第一次大戦の展 開と諸地域の変容 第18章 国際協調体制の 動揺と第二次世界大戦 第19章 第二次大戦後の 東アジア 第20章 冷戦の世界化と 国際制度 第21章 冷戦の変容、終 結と経済のグローバル化 | ・南アジア・東アジアの植民地化 ・清における開発の限界と2つのアヘン戦争 ・西アジア、中央アジアの変革 ・南アジア、東南アジアの民族運動 ・清の体制転換と近代国家建設の模索 ・第一次世界大戦 ・ヴェルサイユ体制と国際秩序の再編 ・世界恐慌と政治経済の変容 ・国際協調体制の動揺 ・第2次世界大戦の開戦と展開 ・戦後秩序抗争と冷戦の形成 ・帝国の解体と分断国家の形成 ・朝鮮戦争と東アジアの冷戦 ・冷戦と政治経済秩序 ・アジアアフリカ諸国の独立と第3勢力 ・冷戦の変容と世界の諸地域 ・冷戦の終結とその後の世界 | ・ムガル帝国の滅亡とインド帝国の成立について ・アヘン戦争と戦争後の中国の対応について ・アフリカ分割の経過について ・インド、東南アジアの民族運動について ・清朝の改革(洋務運動と変法運動)について ・第一次世界大戦の原因と経過について ・ヴェルサイユ体制とワシントン体制について ・世界恐慌と各国の対応策について ・ファシズム国家の台頭とその動向について ・第二次世界大戦の経過と、戦中の国際会談について ・第二次世界大戦と戦後秩序構想について ・朝鮮戦争について ・冷戦の展開について ・第3世界の台頭と多極化の進展について ・冷戦終結後の地域紛争について ■後期単位認定試験【12月】(3年) ■後期単位認定試験【1月下旬～2月上旬】(1,2年) |